

令和6年度 事業報告

令和6年4月1日～令和7年3月31日

NPO法人 福岡すまいの会

1) 総括

- ・福岡県指定居住支援法人としての活動継続
- ・福岡市就労自立支援センター、市内三か所で運営事業受託継続
- ・福岡市アセスメントセンター運営事業受託継続
- ・福岡市福祉センターの新事業受託に向けての準備
- ・福岡県／福岡市ホームレス自立支援推進協議会への参加
- ・福岡県／福岡市居住支援法人連絡協議会への参加
- ・福岡市精神保健福祉協議会への参加
- ・国土交通省「令和6年度居住支援協議会等活動支援事業」補助金交付
- ・職員の福利厚生充実のため退職金制度を維持（中退共加入）
- ・本部事務局職員を増員

2) 就労支援事業

- ・福岡市就労自立支援センター及びアセスメントセンターの運営を継続受託
- ・福岡市就労自立支援センター市内三か所の小規模事業所形式で運営（定員8名、8名、10名、計26名）
- ・アセスメントセンターの稼働率により、福岡市への返納金発生（福岡市就労自立支援センターは稼働率83.5%を超える返金せず）
- ・三事業所およびアセスメントセンターの情報共有のため、VPNネットワーク（仮想専用回線）による情報共有システムおよび、FileMaker Server2023による統合データベースを運用
- ・月1回の全体会議をオンライン定例会議化
- ・10代の入所者1名に対応（～24歳若年者 計7名）
- ・就労・生活保護対象外の緊急入所4名を受け入れ
- ・福岡県弁護士会と連携した入所者法律相談を実施（15件）
- ・新規入所者平均年齢43.4歳（昨年度43.4歳変わらず）
- ・昨年度に引き続き、居宅設定希望者も受け入れ
- ・就労自立割合は56.0%（昨年度52%から4%の上昇）
※2年連続上昇・過去最高割合となっている

3) 住居支援事業

- ・居住相談件数 188件（実人数・前年比8.0%増）

- ・居住支援に関し、国土交通省「令和 6 年度居住支援協議会等活動支援事業」補助金を 4 月～1 月末まで利用
- ・サポートホーム（サブリース・所有物件）利用者総数 79 名
- ・サポートホーム（サブリース・所有物件）利用者変動数
和白地区：入居 4 名 退去 8 名
その他東区：入居 1 名 退去 0 名
城南区：入居 5 名 退去 3 名
その他：入退去なし
- ・保証事業の利用者：入居 0 名 退去 4 名
- ・緊急連絡先引受のみ対応：入居 3 名（緊急連絡先引受総数 31 名）
- ・入居者 1 名に対し解約・退去裁判、強制執行等の対応
- ・住居支援についての統合データベースシステムを運用中
- ・高齢者住宅財団による包括的保証委託契約を利用継続
- ・福岡市福祉センターの受託に向けての調整・準備

4) 諸相談事業

- ・Web 相談、電話相談、困窮者宅でのアウトリーチ相談を実施
- ・相談件数 194 件（実人数）
(男性 108 名、女性 62 名、世帯 21 世帯、不明 3 名)
*男性はほぼ前年同数、女性・世帯が 27.7% 増
相談者のアセスメントセンター入所 9 名
- ・相談支援についての統合データベースシステムを運用中
(FileMaker pro20 FileMaker Server2023 を利用)
- ・相談者緊急対応として 8 名に食糧を提供

5) 生活支援事業

- ・サポートホーム入居者 3 名が病院にて死去
- ・サポートホーム入居者 4 名が自主転居・退去
- ・サポートホーム入所者 3 名の施設入所をサポート
- ・保証引き受け対象者 2 名施設入所、2 名自宅にて死去、1 名が転居
- ・家庭訪問と電話による安否確認を実施中
- ・依存症、認知症等の入居者に金銭管理支援を提供（12 名）
- ・就労自立支援センター入所者 86 名の医療支援をコーディネート
- ・5 名の入居者の入院時身元保証を提供
- ・13 名の入居者に病院同行支援等を提供
- ・触法障がい者・高齢者支援のため「福岡地域生活定着支援協議会」会員を継続

- ・入居者 9 名の法律相談に対応

6) 障がい者福祉事業

実施なし

7) 広報・その他

- ・すまいの会通信、デザインを一新して発行
- ・facebook にコラムコーナーを設定（プレイバックすまいの会、事務局の一日、理事の現場体験記）
- ・調査研究、研修協力

【調査・研究協力】

- ・東京大学 令和 6 年度厚生労働行政推進調査事業「身寄りのない人や意思決定が困難な人への医療行為の同意に関する実態把握のための研究」ヒアリング協力

【研修協力・講師】

- ・連合ふくおかユニオン勉強会 ゲスト講師
- ・九州産業大学 ゼミナールⅡ（八鍬加容子先生） ゲスト講師

【委員会参加等】

- ・福岡県ホームレス自立支援推進会議 委員として参加
- ・福岡市ホームレス自立支援推進会議 委員として参加
- ・福岡県・福岡市居住支援法人連絡協議会 会員として参加
(その他)
- ・福岡市福祉センター受託に向けて、職員の増員を実施

事業実績（生活困窮者の自立支援及び諸相談）

事業名	住居支援	生活相談	就労支援	職業紹介	法律相談	障がい者支援
相談者数	188人	137人	129人	89人	24人	0人
社会復帰・自立者数	19人	19人	79人	0人	24人	0人

※ 相談者数は実人数。実際の相談回数はこれより増える。

※ 住居支援相談者数には電話相談を含み、生活相談と一部重複している。

※ 就労支援のうち就労による自立者数は47人

令和6年度 事業の実施に関する事項報告

(1) 特定非営利活動に関する事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
生活困窮者の自立のための住居支援事業	住居相談	毎日	事務局	5人	福岡市内の生活困窮者 : 188人	27,159
	サポートホームの運営	毎日	東区、城南区 南区、博多区等	6人	入居者 79人	
生活困窮者の自立のための保証人活動事業	保証人活動	随時	事務局及び各自の住居	5人	連帯保証をしている人 18人	
生活困窮者の自立のための生活支援事業	生活支援	随時	各自の住居	6人	自立者 128人	0
生活困窮者の自立のための就労支援事業	就労支援	毎日	博多区保護三課、就労自立支援センター、アセスマントセンター	17人	就労自立支援センターとアセスマントセンター 入所者 129人	93,435
生活困窮者の諸相談業務事業	緊急支援	随時	事務局および、各自の住居	5人	福岡都市圏の生活困窮者 9人	50
	生活相談	随時	事務局	5人	福岡都市圏の生活困窮者 137人	0
生活困窮者の自立支援に関する調査・研究事業	調査・研究	実施なし				0
生活困窮者の自立支援に関する出版事業	出版	実施なし				0
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	グループホームの運営	実施なし				0
有料職業紹介事業	職業紹介	通年	事務局	10人	センター入所者他 93人	12

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
文化事業	講演など		実施予定なし			0
物品販売事業	物品販売		実施予定なし			0

(資料)

【すまいの会通信 リニューアル版】

2024年度版 歩みだした人たちと歩み続ける

福岡すまいの会 通信

新理事紹介

新理事 村上 大作
この度理事に就任いたしました村上大作と申します。仕事は、糸島市で精神障害者を対象としたグループホームを運営しています。全国精神障害地域生活支援協議会(あみ)の理事をやっています。趣味は、波乗り、料理、魚釣り、そして焼酎です。波が上があれば、出勤前に海に浸がって仕事に行きます。帰宅したら台所で一杯ひっかけながらの夕食つくり、食後はYouTubeで魚釣りや格闘技の動画等を観ている日常です。すまいの会では、生活困窮者の法制度や支援を学びたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

新理事 八嶺 加容子
この度理事に就任いたしました八嶺加容子と申します。10年間ほど、「ビッグイシュー日本」(大阪)でホームレス状態の方々の自立を支援する事業に従事。2023年から九州産業大学で社会学を教えております。研究テーマは「ホームレス問題」、都市における他者との協働です。「ビッグイシュー」時代にお世話になった服部事務局長からお声がけいただき、今回「福岡すまいの会」のお仲間に入れていただき、大変ありがとうございます。学ぶことはかりですが、少しでもお役に立てるよう頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

理事長コラム

れう生うつと環境なめたにれ
ばに活たき思境どな。もぞ當に能
と跨て事ないとくい精數れ会
思代をにいま触を。神多のて
いにあ寄、すれお対的くつの
ま對くりも。合持人なな出
す。応つ添しそううち恐側会
していくしこの佈面つを中
ても、はてど方へつを中
いら、出家もは近人へ持
かえ普来旅大、腰に来つは
なる遇なに切自のなまた、
けよのかはだ然普じし方そ

生芸がでば業が相
に能、暮入かが顔応出先
尊を過ら織りあにに常日
守達し一はつ併入し、
り化て八も美たえ生ま田
なが二年顔でまをし倉
が進〇目がしす歩たの
らむ年、滿よ。ん。中
に福れうそで男学
ら櫻放に福れき女校
ら櫻な岡まがれき女校
す。こぞた皆同
のれ年、窓
時苦論年会

3 福岡すまいの会通信 2024年版

新所長・新職員に聞いてみました！

福岡すまいの会 どんな時にやりがいをかんじますか？

福岡市就労自立支援センター おおとり 事務所長 飯星 信二
早いものでもう1年ほど経過しましたが、事業所長代理としても相談員としても職業の毎日です。また、支援において辛い事実に直面する事もありますが、一つずつ困難が解決していく場面に立ち会い、前向きになっていく姿を助けて、日々業務に取り組んでいます。【2023年12月事業所長就任】

福岡市就労自立支援センター せいらいん 三代 輝
私はつまずいた方々が普通の生活を取り戻す手助けができるとの思いで日々の業務にあたっています。その中で入所者の方と同じ目標で共に考え、悩み、怒り…半年共に過ごし退所の日、別れを惜しんで涙ぐんでくれた方もあります。私は支援には【正解は無い】と思っています。しかしこの時ばかりは私がしてきた事は決して間違いではなかったのだとの思いが去来し、やりがいを感じました。【2022年7月入職】

福岡市就労自立支援センター すぐく 下津浦 弘孝
利用者の方が自立して、センターでの生活を閉じ、新しい生活の第一歩を踏み出す瞬間に立ち会える事が、何よりも大きな喜びを感じる時です。たとえば、新居が決まり、利用者の方々の表情に希望や喜びが溢れるのを見て、微力ながらも変化をもたらす力になっていることを感じる瞬間が、私にとってのやりがいです。【2023年6月入職】

福岡市就労自立支援センター おおとう 諫川 雅子
日々学びながら、支援をしていますが、その中で最初は固い表情の相談者が少し、少しうれしこの表情が柔らかくなる姿をみられることが助めになっています。相談者の心に寄り添う支援ができる相談員を目指して学びを深めていきたいです。【2024年2月入職】